

# 平成18年度 医療問題特別委員会行政視察報告書

平成19年1月22日

1. 日程 平成18年11月14日～15日
2. 視察先 北海道奈井江町 人口 6,880人 面積 88.05km<sup>2</sup>  
視察先対応者 北良治町長 林潤一健康ふれあい課長 小沢敏博補佐 篠田茂美議会事務局長
3. 視察項目 奈井江町立国民健康保険病院について(以下町立病院という)
4. 視察者 委員 今井 詔一委員長 茂岡明与司副委員長 田沢 弘一委員  
高井 保委員 大関 勝正委員 樋口 浩二委員 佐野正三良委員  
随員 石井 信一議会事務局次長 以上一行8名

## 奈井江町立国民健康保険病院の概要

- ・ 開設年月日 昭和37年5月1日 建物 鉄筋コンクリート造4階建(6,489.46m<sup>2</sup>)
- ・ 診療科目 内科、整形外科、眼科
- ・ 病床数 96床{一般病床46床(うち開放型病床12床)、医療療養型20床、介護療養型30床}
- ・ 平成17年度平均患者数(一日平均) 入院 68.3人(病床稼働率 71.2%) 外来 141.9人
- ・ 医師体制 常勤 内科3人、整形外科1人 嘱託 内科1人(砂川市立病院からの派遣医師)  
非常勤 内科2人、眼科1人
- ・ 看護体制 一般病棟13:1、療養病床25:1

## 奈井江町病診連携事業の取り組み

### 1. 事業概要

地域住民が安心して医療を受けられるシステムづくりと地域医療の充実を目指し、平成6年より地元医師会と町立国保病院との連携に取り組んでおり、地元開業医師は、町立病院の登録医として診療業務を行う。この中で、町立病院を「開放型共同利用病院」として位置づけ、病床96床のうち、12床を開放型病床として地元開業医師に開放し、引き続き入院患者としての定期的診療にあたっている。開業医師を主治医、国保病院の医師を副主治医と位置づけ、医師間の診療情報共有、連携の円滑な推進を図っている。

### 2. 主治医と副主治医の役割

- (1)患者の診療方針について、両者で協議、連携のうえ決定する。
- (2)病院看護師への指示、投薬、処方等は、原則として主治医が行う。
- (3)患者への説明は、原則として主治医が行う。
- (4)患者の容態急変時の連絡は、主治医に連絡し、主治医不在の場合は、副主治医が対応する。

### 3. 17年度開業医師来院実績(地元開業医師2名が対応)

	17年度来院延回数	来院時診療時間
A 医師	291回	約1時間
B 医師	82回	約1時間
計	373回	

## その他の病診連携事業

- (1)病院高度医療機器の共同利用
- (2)病院検査施設の共同利用
- (3)地元老人保健施設、特別養護老人ホームへの入所に対する地元開業医師の継続診療

## 5. その他

- 17年度開放型病床利用状況 述べ利用患者数4,117人、1日平均患者数11.3人
- 高度医療機器共同利用状況 医療機器 CT スキャン 述べ利用件数60件
- 老健・特老への継続診療状況

施設別	延べ利用者数	1日平均利用者数
健寿苑	3,389人	10.1人
やすらぎの家	2,190人	6.0人

- 開放型病院共同指導料(=診療報酬)

登録医へ1人1日あたり3,500円、町立病院へ1人1日あたり2,200円

- 効果 病院と診療所の役割、機能分担、地域医療における継続診療、家庭医機能の向上などが図られ、地域で安心した医療提供が図られる。患者にとって、老人保健施設、特別養護老人ホームに転所しても、引き続きかかりつけ医からの診療が受けられることへの信頼感、安心感に繋がっている。

## 砂川市立病院との医療連携

- 砂川市立病院概要 診療科目 18科、医師数67名、病床数535床
- 医療連携協定書の締結 平成17年10月20日締結
- 連携の範囲

(1)医師の派遣に関する事 (2)病床の有効利用に関する事 (3)患者の紹介・逆紹介に関する事 (4)医療機器等の共同利用に関する事 (5)カンファレンス、研修会等の合同開催に関する事 (6)医療情報の共有化に関する事 (7)総合情報システム等のIT化に関する事 (8)病院の運営形態の検討に関する事 \*平成22年度を目途として実施可能な事項から逐次実施

- 病病連携の必要性

個々の病院の問題としてではなく、地域全体で効率的な医療サービスの在り方の検討が必要な時代となった。高度・専門化する急性期医療ニーズへの対応が求められるようになった。

- 病病連携による効果

医療の質の確保、医師確保の新たな道の構築、新たな医療ニーズに対応した医療サービスの提供、職員の資質向上。

## その他メモ

- ・昭和35年に18,500人が最高人口、現在は約6,800人。地方交付税が歳入の48.7%を占める。町長は「奈井江町は合併せず自立で行く」と言明。全町に50億円を要した流雪溝あり。
- ・町立病院は平成6年全面改築完了。改築費約27億円の内、町の実質負担額は約1億円。
- ・町立病院収益は落ちてきているが黒字。平成17年度決算…単年度実質収支17,141千円、繰越実質収支522,465千円。一般会計繰入金(271,043千円)は繰出基準による額を根拠にしている。
- ・奈井江町病診連携事業は、町理事者側と開業医の方波見康雄医師等の成果。 以上